

◎ 聴解問題スクリプト

Track 22

13番 女子学生と先生が、女子学生のレポートについて話しています。この先生は、今後レポートを書くときに、どのような点を改善したほうがいいと言っていますか。

女子学生：先生、今回のレポート、どうでしょうか。

先生：うん。前回指摘した専門用語のミスはほとんどなくなったね。

女子学生：そうですか。書き終わったあと、何度もチェックしたんです。

先生：それは大切なことだね。じゃ、次回からは、書いた文章や図表などが本当に必要なものかどうかも見ただほうがいいね。

女子学生：余計なものがありましたか。

先生：うん。テーマと関連があるかもしれないけど、入れなくてもいいものもあったね。

女子学生：関連がある情報をたくさん入れたほうが、説明しやすいかと思って入れたんですが。

先生：うん。気持ちはわかるけど、そういうものがあると、肝心な部分がぼやけてしまうんだよ。

女子学生：はい、分かりました。

この先生は、今後レポートを書くときに、どのような点を改善したほうがいいと言っていますか。

1. 専門用語の間違いが目立つ点
2. 肝心なことが書かれていない点
3. 必要ない文章や図表が入っている点
4. テーマに全く関係ない部分がある点

Track 23

14番 先生が、生物の授業で、骨について話しています。この先生は、骨のもともとの役割は何だと言っていますか。

生物は進化を続けていくうちに、体に骨を持つようになりました。骨はリン酸カルシウムという物質からできていますが、この物質は動物が生きていく上で必要なものです。食べ物などによって、外から常に補給される状態にある時はいいのですが、もし食べ物がなくなったら、生死に関わる問題になります。そこで、これらの物質を体の中にとっておいた結果、骨ができたようです。つまり、最初は、大切な栄養を貯めておく場所だったと考えられているんです。

今のように、骨が体を支えたり、筋肉をつけたりするようになったのは、生物の進化の中でずっと後になってからです。そして、骨はもちろん頭や体の大切な部分を守る役目も果たしていますが、これも進化の過程で環境に合わせて担った役割だと考えられています。

この先生は、骨のもともとの役割は何だと言っていますか。

1. 体全体を支えること
2. 頭や体を守ること
3. 筋肉をつけること
4. 栄養を蓄えること

Track 24

15番 先生が、教育学の授業で、学校内の空間について話しています。この先生は、学校の中に小さな空間をつくる一番の利点は何だと言っていますか。

教室や廊下に壁を作らない、オープンスペース型の学校が増えていますね。オープンスペース型の教室は、教師が常に子どもの様子を見渡せるという利点がある一方で、子どもたちにとっては、常に大人に見られていることでストレスを感じるという問題があります。

それで、最近こういう学校で、5、6人が入れればいっぱいになるような小さな空間を設置する取り組みが進んでいます。こういう空間は他の子どもとの距離が近くなり、グループ学習や話し合いなどに効果を上げているそうです。それに、何といても子どもの気持ちが落ち着きます。実際に、けんかなどで興奮したりパニックになってしまったりした子どもを小さい部屋につれていくと落ち着くそうです。

この先生は、学校の中に小さな空間をつくる一番の利点は何だと言っていますか。

1. 子どもの気分が休まる。
2. 子どもの成績が上がる。
3. 教師の声が届きやすくなる。
4. 教師が子どもを監督しやすくなる。

Track 25

16番 女子学生と男子学生が、環境問題のレポートのテーマについて話しています。この男子学生は、どのようなテーマでレポートを書きますか。

女子学生：ねえ、環境問題のレポートのテーマ、決まった？

男子学生：うん。自動販売機にしようと思って。

女子学生：空き缶の回収とリサイクルとか？

男子学生：違うよ。

女子学生：じゃあ、空き缶の投げ捨てについて？

男子学生：ううん、日本って、至るところに自動販売機があって、いつ誰が飲むのかわからない飲み物を冷やしたり温めたりし続けているだろ？そのために、無駄な電気が使われているよね。これって、深刻な環境問題だと思うんだ。

女子学生：そうだね、私、山の上で自動販売機を見たことがあるよ。自然の景色を壊している気がして、よくないなって思ったけど、確かに、エネルギーの面でも問題だよ。

この男子学生は、どのようなテーマでレポートを書きますか。

1. 空き缶のリサイクル
2. 空き缶の投げ捨て
3. 自動販売機とエネルギー消費
4. 自動販売機と山の景色

Track 26

17番 先生が、他の人と共同で仕事や研究をするとき、どんな人と一緒に組めばいいかについて話しています。この先生は、どのような人を選ぶのがいいと言っていますか。

グループで仕事や研究をする時には、他人と協力しなければできないことがいろいろあります。では、どんな人と組めば、仕事や研究がうまくいくのでしょうか。だれかと組まなければならないときは、自分と同じような知識を持った人や、同じような性格の、気の合う人を選びがちです。しかし、それでは、いい仕事や研究はできません。自分が持っているものを持っている人と組んでこそ、今まで考えもしなかったすばらしいアイデアが生まれたり、総合的に仕事や研究の質を高めたりすることができるのです。

この先生は、どのような人を選ぶのがいいと言っていますか。

1. 自分とは異なるタイプの人
2. 優れた業績を残している人
3. 自分と気が合う人
4. アイデアが豊かな人

Track 27

18番 男子学生と女子学生が美術館についての発表内容について話しています。この二人は、まず、何を調べることにしましたか。

男子学生：美術館についての発表か。どういう切り口でいくかなあ。

女子学生：授業で先生が、建物を改装して、展示スペースを広げる美術館が多いって言ってたじゃない。高齢者から寄付される作品が増えたからだって話だったね。

男子学生：うん、美術品をたくさん持っている人が、財産整理のために作品を美術館に寄付するんだよね。

女子学生：そう、でも、どのくらい多いんだろう？

男子学生：うーん、寄付された美術品の数なんて、発表した人はまだいなかったよね。

女子学生：じゃあ、寄付された美術品の数を調べて、社会の高齢化との関連を検討したらどうかな。

男子学生：ああ、いいね。やってみようよ。

この二人は、まず、何を調べることにしましたか。

1. 改装した美術館の数
2. 高齢者からの寄付金の額
3. 展示スペースの広さ
4. 寄付された美術品の数

Track 28

19番 先生が、新しい分野の勉強を始めるときの心構えについて話しています。この先生は、新しい分野の勉強を始めるとき、何が大切だと言っていますか。

みなさんは、自分があまり知らない新しい分野の勉強を始めようと思ったとき、まず何をしますか。とりあえずインターネットで調べるという人も多いのではないかと思います。しかし、インターネットのように膨大な情報網の中から、必要な情報とそうでない情報を見分けるのは、その道の初心者にとっては難しいことです。ある程度その世界のことがわかるようになるまでは、情報を選ぶ力さえないということです。だから、まずはその分野について大まかにわかるようになるために、入門書を読んだり、その分野に詳しい人に直接話を聞いたりするといいでしょう。

この先生は、新しい分野の勉強を始めるとき、何が大切だと言っていますか。

1. 必要な情報とそうでない情報を分類すること
2. その分野の概要を知ること
3. インターネットを使って情報を調べること
4. 多くの情報に目を通すこと

20番 女性と男性が自動車のアンケート結果について話しています。この二人はこれからどんなことを分析しますか。

女性：データが少しまとまったからちょっと見て。

男性：ガソリンが倍の値段になっても今までどおり車を使うっていう人は42%か。案外多いんだなあ。

女性：でも、値段が5倍になるとさすがに1割ちょっとに減るわね。

男性：その1割の人って、どんな人なんだろう。若い人かなあ、車が趣味の。

女性：若い人はお金がないから、お金の余裕のある人のような気がするわ。

男性：じゃ、レジャーで使ってる人？

女性：うーん、やっぱり仕事で使ってる人なんじゃない？ 通勤とか。

男性：通勤だったら電車にすればいいじゃない。

女性：東京や大阪みたいに交通の便がいいとこだったらいいけど、そうじゃないところはなかなかそうもいかないわ。

男性：じゃ、田舎に住んで通勤で使ってる人？

女性：私もそんな気がする。その点に絞って、もう少し分析してみましょうよ。

この二人はこれからどんなことを分析しますか。

1. 収入と自動車の使用との関係
2. 趣味と自動車の使用との関係
3. 居住地と自動車の使用との関係
4. 年代と自動車の使用との関係

21番 先生が、生物の授業で、ある種類の鳥を使った実験について話しています。この先生は、実験からどのようなことがわかったと言っていますか。

今日は、ある種類の鳥を使った実験についてお話しします。この種類の鳥は、普通、卵を三つ産んで温めます。しかし、そばに卵を五つまとめて置くと、五つの卵の方に移動し、温めようとしたのです。次に、卵の大きさも変えてみました。そばに大きさの異なる卵を置いてみたところ、鳥は、大きな卵の方を選びました。では、大きさを通常の3倍という現実ではありえないサイズにしてみたらどうだったのでしょうか。結果は3倍の大きさの卵の方を選びました。

普通では考えられない数や自然界ではありえない大きさの卵であっても、この種類の鳥は、繁殖成功率の高いと感じる方を選んでいくようなのです。

この先生は、実験からどのようなことがわかったと言っていますか。

1. この鳥は、自分が産んだ卵を見分けることができる。
2. この鳥は、卵の数や、大きさを認識できない。
3. この鳥は、自然界ではありえないような卵は温めない。
4. この鳥は、卵の数が多い方や、卵がより大きい方を選ぶ。

22番 デザイナーが講演をしています。この人が、デザインをする時に最も大切にしていることは何ですか。

私はもう何十年も、本や雑誌、ポスターや広告などいろいろなデザインの仕事をしてきました。こういう種類のデザインは、どんなに美しく洗練されていても、それだけではだめなんです。例えば地図で、デザインを優先して情報を省略しすぎたら目的地にたどりつけなくなってしまいます。これではもう地図じゃない。ものの本来の役目を損なわないようにしながら洒落たデザインを考えることが私たちの仕事なんです。でも最近、「あれ？」と思うようなデザインをよく見るようになりました。コンピュータのおかげでデザインの幅は広がったけれど、技術ばかりが先走っている印象を受けます。おもしろいもの、新しいものに挑戦するのは大事ですが、そのために一番基本的なことを犠牲にするというのは問題だと思います。

この人が、デザインをする時に最も大切にしていることは何ですか。

1. 洗練されたデザインにすること
2. 機能を重視してデザインすること
3. コンピュータでデザインすること
4. 新しいデザインに挑戦すること

Track 32

23番 女子学生と男子学生が、ノーベル賞を受賞した人の本を見ながら話しています。この男子学生が感心しているのは、この本を書いた人のどんな点ですか。

女子学生：何の本読んでるの？

男子学生：これ？ノーベル賞をとった人が書いた本だよ。

女子学生：へえ。プラスチックの研究をしている人なんだね。

男子学生：うん。化学の専門的な話は難しいんだけどね。中学生の時のお弁当の話とか、面白い話も載ってるんだ。

女子学生：お弁当？

男子学生：そう。お弁当を包んでいたビニールの包みが熱で伸びて変形して、その後使えなくなっちゃったことがあったんだって。

女子学生：うん。

男子学生：それで、これは改良が必要だ、大学に入ったら研究して、新しいプラスチックを作りたいと思ったんだって。

女子学生：へえ、私なら「あーあ」って思って終わりだろうな。

男子学生：うん、普通そうだよ。でも、それがノーベル賞につながるって、やっぱりすごいよ。

この男子学生が感心しているのは、この本を書いた人のどんな点ですか。

1. 化学に関する専門性が非常に高いこと
2. ノーベル賞をとったこと
3. 身近なことから研究のきっかけを見つけ出したこと
4. 中学時代に既に研究を始めていたこと

Track 33

24番 先生が電子メールの文章について話しています。この先生は、電子メールの文章に見られる問題点は何だと言っていますか。

電子メールの普及で、以前と比べて、言いたいことを文字にして送るということが多くなりましたね。手紙は苦手でもメールならそれほど抵抗はないという人が多いでしょう。メールは手紙文のように形式に縛られることなく、会話に近い感覚で相手とやりとりができます。

しかし、気軽にメールで文章を交わせることが、かえってマイナスになることもあります。それは、書く側の意図が読み手に伝わりにくい、独りよがりの文章になりがちだということです。これは、読む側の理解不足というより、書く側がよく考えずに、思うままメールを書くことが原因です。気負わずに書くということと、よく考えずに書くということとは同じではありません。文章の種類や長さに関係なく、これは心に留めておかなければならないことです。

この先生は、電子メールの文章に見られる問題点は何だと言っていますか。

1. 読み手にわかりにくい文章であること
2. 適切な形式が使われていないこと
3. 必要以上に長いこと
4. 話し言葉がそのまま文章になっていること

Track 34

25番 先生が、高齢化社会におけるスーパーマーケットの経営について話しています。この先生は、高齢者の利用を増やすために、お店が大切にしなければならないことは何だと言っていますか。

高齢化社会では、高齢者の利用をいかに増やすかが、店舗経営にとって重要なポイントとなります。では、そのためにはどうすればいいのでしょうか。まず、レジでの精算に時間がかかる高齢者に対して、余裕をもって対応するなど、ゆっくりとした動きに店員が合わせなければなりません。店内を忙しく走り回る店員の姿も、客に危険だと感じさせることとなりますから、常にゆっくり動くことが大切です。また、客の話を丁寧に聞くのも大切です。繰り返しが多い話し方をするのは高齢者の特徴ですが、いらいらせずに親身になって聞く態度は、客によい店だという印象を与えます。

この先生は、高齢者の利用を増やすために、お店が大切にしなければならないことは何だと言っていますか。

1. 高齢者への対応はすばやく行うこと
2. 高齢者のニーズに合った商品を増やすこと
3. 高齢者への宣伝に力を入れること
4. 高齢者の行動のペースに合わせて接すること

Track 35

26番 先生が、心理学の授業で、子どもの証言について話しています。この先生は、子どもの証言がしばしば変わってしまうのはなぜだと言っていますか。

小さい子どもが事故や事件の目撃者になった場合、その子どもに証言をしてもらうわけですが、たとえば、「その男の人は鞆かばんを持っていた？」と聞くと「持っていなかった」と答え、「持っていなかったの？」と聞くと今度は「持っていた」と答えるなど、答えが変わってしまうことがあります。

これは、子どもの記憶とは離れたところに問題があるのかもしれませんが。実は、大人が確認のために繰り返し質問したのだとしても、子どもは自分の答えが間違っているから同じ質問をするのだと思って、前の答えと別の答えを言ってしまう可能性があるのです。子どもの場合は、家庭や幼稚園などで、「答えは何？」というような知識を試される質問をされることが多いので、「大人は答えを知っていて、自分はその正しい答えを言わなければいけないのだ」と考えがちなのです。

この先生は、子どもの証言がしばしば変わってしまうのはなぜだと言っていますか。

1. 大人の質問の言葉が、子どもにとっては難しいから。
2. 子どもは、同じ質問が続くと、自分の答えがおかしいのではないかと思うから。
3. 子どもは、質問を繰り返されると、前に答えたことを忘れてしまうから。
4. 子どもは、大人より記憶力が劣っているから。

Track 36

27番 先生が、商品を入れたり包んだりする包装の種類について説明しています。このうち、この先生が最後に挙げた重要な機能をつける必要がないのはどの種類の包装ですか。

包装には三つの種類があります。一つは、例えば薬を入れるビンなど、商品自体を包むためのものです。二つ目は、商品が壊れないようにするための包装で、薬のビンを入れる箱などです。三つ目は、商品を店、薬の場合ですと薬局に輸送したり、保管するために施される、運送用の段ボールなどです。これは、ふつう消費者の目にふれることのない包装になります。こうした包装には、商品を傷や汚れから防ぐ機能に加え、運びやすくしたり、持ちやすくしたりする機能があります。

私は、この他にも包装には、消費者に商品のイメージを伝え、商品の売り上げアップにつなげるという重要な機能があると思います。ただし、この機能は、消費者が直接見ることがない包装には、つける必要がないということになりますね。

この先生が最後に挙げた重要な機能をつける必要がないのはどの種類の包装ですか。

1. 薬のビン
2. 薬のビンを入れる箱
3. 運送用の段ボール
4. パンを包むビニール袋